

## ＜主な取り組み＞

### 1 湘南の海、大地、風と共生する都市圏の整備

金目川などにおける多自然型護岸の整備により、人や自然にやさしい河川環境づくりや自然災害に強いまちづくりに努めています。また、海岸を魅力ある文化・リゾート地としてさらに活力あるものとするためPFI事業を導入し、県立湘南海岸公園の再整備を行いました。

また、里山の保全を推進するため、秦野市名古木地区において地域が中心となった推進体制の整備や里山の環境を生かした公園の整備に取り組むとともに、丹沢大山再生のためニホンジカなどの被害を防ぐ防護柵を設置しました。

さらに、湘南の自然と共生した都市圏の整備を進めるとともに、茅ヶ崎海岸（柳島地区）の消波堤工の整備など湘南海岸の侵食対策にも取り組みました。

### 2 湘南のくらしと文化を支える交通ネットワークの形成と拠点整備

生活利便性の向上や産業活動を支える基盤として、さがみ縦貫道路などの自動車専用道路の整備を促進するとともに、国道134号や片瀬橋の整備及び県道22号（横浜伊勢原）などの整備を行っています。また、公共交通網の強化のため、藤沢市湘南台において連節バスの運行がスタートしました。

### 3 湘南の地域力を活用した産業の振興

創業者の発掘や育成のため、地元大学と連携した起業家育成施設の建設が藤沢市内で始まったほか、創業フォーラムなどを開催しました。また、伊勢原市大田地区などにおいて農業生産基盤の整備に取り組むとともに、秦野市では観光農業に関する振興計画の策定に着手しました。

## ＜課題と今後の対応方向＞

海岸の侵食が進み、砂浜の後退が問題となるなど、海岸保全の取り組みの一層の充実が必要となっています。そこで、侵食対策を充実させ、自然災害から海岸地域を守るとともに、湘南らしい景観を将来の世代に引き継げるよう努めます。

交通ネットワークの不足により多様な交流に支障をきたしているため、さがみ縦貫道路や交流幹線道路網の整備などに引き続き取り組んでいきます。

地域経済については、今後とも湘南ツーリズムの推進や地産地消促進のための農産物直売所の整備推進、新たな産業集積や都市連携の拠点となる辻堂駅周辺の都市拠点整備の推進及び新産業の創出など、湘南の地域力を活用し、地域経済の活性化をめざします。



多自然型護岸整備（金目川）



連節バスの運行

## 地区の数値データ（指標）

### ○道路の混雑度が1.0以上の箇所数（平日）

（単位：箇所）

1994	1997	1999
54 [56.8%]	52 [53.6%]	53 [55.2%]

（「道路交通センサス」より作成）

混雑度1.0以上の箇所では、昼間12時間のうち、混雑する可能性のある時間帯が1～2時間以上生じ始めると推定されます。（ただし高速自動車国道を除く）

※〔 〕内は地区内調査箇所数に対する割合

### ○製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所）

（暦年）（単位：億円）

1999	2001	2003
42,396 (19.9%)	40,608 (20.4%)	37,909 (20.2%)

（「神奈川県工業統計調査結果報告」より作成）

### ○入込観光客数

（暦年）（単位：千人）

	2001	2002	2003
日帰り	22,227 (16.6%)	21,932 (16.1%)	23,690 (17.0%)
宿泊	690 (5.5%)	632 (4.9%)	583 (4.5%)
延べ	22,919 (15.6%)	22,564 (15.1%)	24,273 (15.9%)

（「神奈川県入込観光客調査報告書」（神奈川県観光振興対策協議会）より作成）

### ○小売業の年間商品販売額

（単位：億円）

1997	1999	2002
13,025 (14.7%)	12,919 (14.3%)	11,791 (13.9%)

（「神奈川県商業統計調査結果報告」より作成。）

※（ ）内は全県に占める割合